



神戸東部支部では、「東灘図書館」「協の浜福祉センター」「コミュニティープラザ」の3か所の拠点活動と、学園祭での出前隊活動を行いました。令和4年度から新たに開設された「東灘図書館」では従来の午後開催ではなく、子どもを連れた育児相談や子育て相談のニーズにも対応できるように、来館がしやすい午前開催へ8月より変更しました。

新型コロナウイルスの影響が収束した後、兵庫医科大学のポートアイランドキャンパスでは、初めての学園祭が10月28日・29日の2日間にわたり開催されました。在学生と近隣住民が対象となり、看護学生も含めて活動を再開する喜びを共有しました。

更に、日本管財株式会社神戸市営住宅東部センターよりご依頼を受け、各々の集会所で行われるフレイル予防教室の後に、出前隊として12月15日から新在家住宅(灘区)、HAT神戸協の浜住宅(中央区)、弓木南住宅(灘区)、本山第一(東灘区)で活動をスタートしています。

現在は出前隊としての活動ですが、ご依頼のご希望に添えるよう今後は拠点活動も視野に入れ検討を進めていく予定です。

東灘図書館

今年度も東灘図書館2階の会議室をお借りし実施しています。この場所は、図書館を利用されている方々に、少し目につきにくい問題がありますが、図書館の関係者の方による館内放送やホームページへの掲載の他に、玄関先で来館者の方にスタッフが声をかけ、呼び込みを行っています。

東灘図書館では、健康相談と子育て相談を行っています。3拠点の中ではリピーターの方は少ない印象ですが、40代の若い世代の方も健康相談に来られています。

若い世代が多いこともあり、今年度より始めている0歳以下の赤ちゃんとお母さんを対象とした「ベビーマッサージ」は、助産師が中心となり衛生面や安全性に考慮しながら行っています。10月と12月の2回開催しましたが10月と比較すると、12月は冷寒な季節であり、赤ちゃんを裸にしてベビーマッサージを行う際、スタッフも抵抗を感じました。現在は寒さのため一時中断していますが、暖かい時期に再開する予定です。

東灘区役所の子育て掲示板において、ベビーマッサージのポスターの掲示を許可いただき告知活動を行っております。さらに、2月には糖尿病看護認定看護師による子どもの栄養に関するミニ講和を予定しています。

来年度においては、健康相談のリピーターを確保し、ベビーマッサージのプログラムを更に拡充していくことが課題となります。





脇の浜福祉センター

集会所の一室で、心地よい雰囲気の中で健康相談を行っています。リピーターの方はもちろん、ご夫婦や独居の方、またご友人同士が参加しています。日々皆さま自身が行われている血圧測定や散歩など、努力を分かち合っています。

健康に関する質問や不安を気軽に相談され、コミュニケーションを大切にしています。最近では認知症に関する不安を抱える方もいます。世間話を交えながら、皆さんがリラックスして参加できるような場を提供しています。

これからも積極的な健康へのサポートを続け、皆さんとの絆を深めていく予定です。

コミュニティープラザ

リピーターの方が多く参加されていますが、残念ながら新型コロナウイルス流行以前にお越しいただいていた方々と再会できていないことが気になっております。

今後は通常通りの活動を目指し、新たな訪問者にも居心地の良い場として感じていただけるよう、コミュニティープラザの魅力を広く伝える努力を重ねていくつもりです。健康相談の場としての価値を一層高め、未来に向けてコミュニティー全体のつながりを深めていくことが、私たちの課題となっています。

